

【タイム】 出合(7:00)→最後の堰堤(7:35)→  
稜線(10:30)

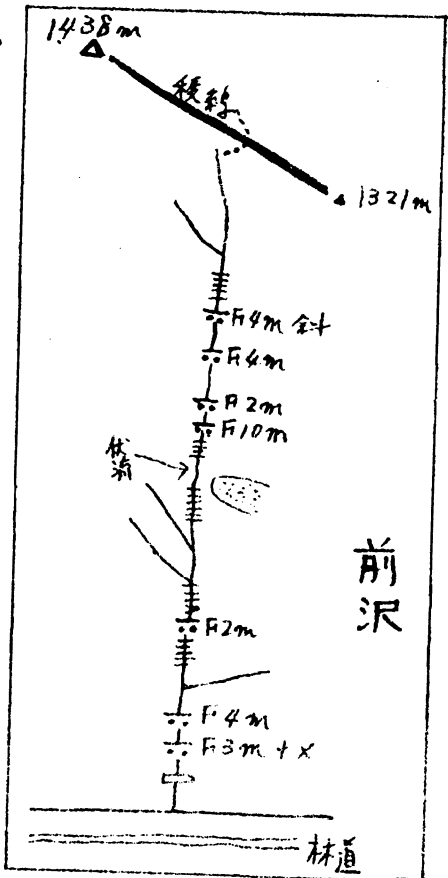
### 前沢

1986年7月26日

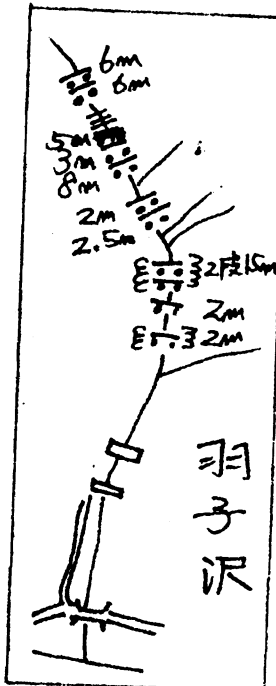
L

伐採のためと思われる踏跡をたどって歩いてゆく。ヤブになったところから下降を開始する。歩き初めて20分程で水があらわれる。続いて高さ5m、長さ10m程のナメが出てきて、滝も何本かかかってくる。下降開始後1時間ほどで沢は伏流となり、カレた沢を下降する。左岸上部に大規模な土砂崩れの跡も見える。5分程歩くとまた水が出てきて、ナメと滝が何回か現われ、最後の堰堤となる。

廻行したタキノ沢も含めてナメがきれいな沢であるが、伐採のためか沢が荒れているように思われた。また我々は前沢の右俣を下降



前沢



したわけであるが、左俣との出合と思われる顕著な沢をみつけられずに本流に出てしまい、自分の能力のなさを痛感したしだいである。

(記・

【タイム】 下降開始(11:00)→沢(11:20)→下降終了(13:15)

### 羽子沢

1986年7月27日

L

尾根上で木に登り、現在地を確認して大休止。パン1コを腹にいれる。下り始めようとしたら、どうも違うような気がしたが、樹木で視界がさえぎられたせいのようなのだ。

急斜面を下るとすぐにルンゼ状となったが、浮石が多く、足元に気を付けながらの下降となる。水が出てきてからはナメ状の滝がかかり、わきのブッシュを使って降りること